

# 統合システム運用管理

IT運用の自律化を加速し、ワンステージ上の運用管理へ  
未来へ進むなら、JP1 Version 12

“

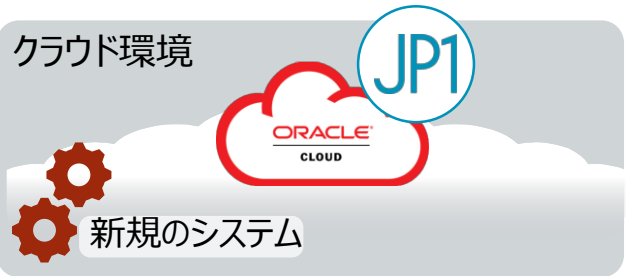
JP1は、人に依存しないIT運用の実現をめざし、複雑化・多様化したシステムにおけるさまざまなデータとその関係性を統合的に管理します。  
操作や制御の一元化や機械学習（AI）の活用によってIT運用の自律化を加速。ビジネスに貢献するインテリジェントなIT運用を支援します。

## サービスイメージ

JP1はOracle Cloudを含むクラウド環境、オンプレミス環境のシステムを統合管理  
「業務の自動化」「システム監視」により業務システムの安定稼働を実現！！

### ✓JP1はクラウドレディ

オンプレミス環境からクラウド上に移行されたシステム、および、クラウド上の新規システムで、業務の自動化（ジョブ管理）、システム監視を効率的に実現！！



既存システムの移行

### オンプレミス環境



### ✓ハイブリッド環境、 マルチクラウド環境の一元管理

複数の基盤上のシステムについて、  
基盤の種別を意識することなく、  
運用管理の一元化を実現！  
クラウドへの段階的移行の際も  
継続的に一元管理可能です。

(※) クラウドプラットフォーム対応状況の詳細は以下からご確認ください

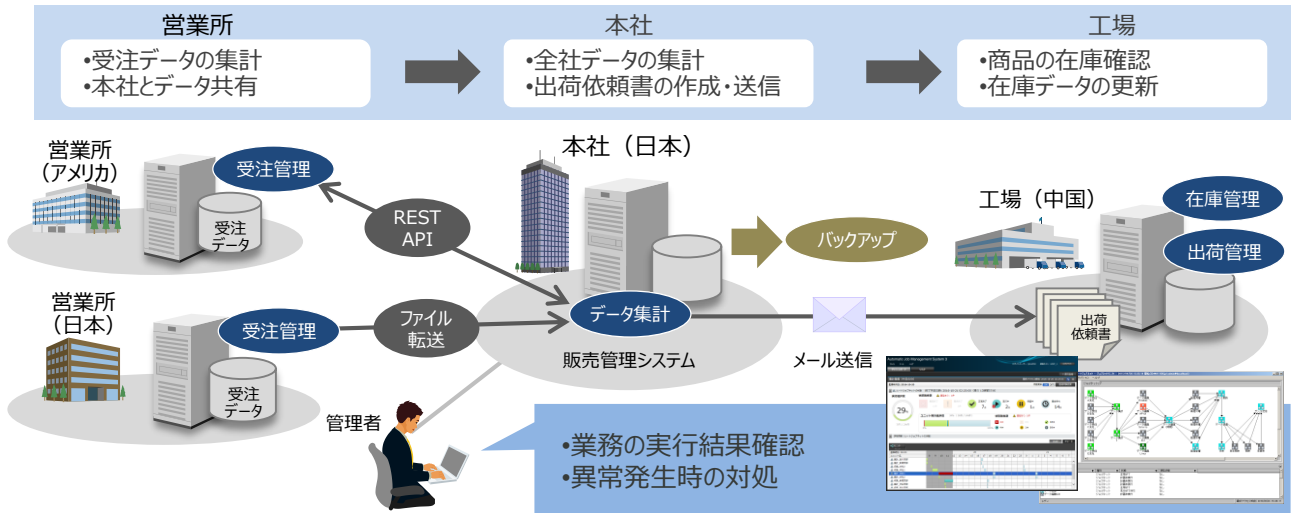
<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/product/jp1/environment/index.html>

## 製品/対象ユーザと導入効果のご紹介

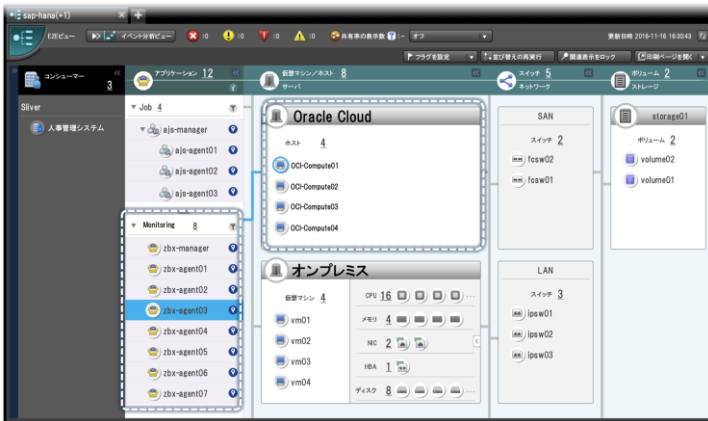
JP1 Version 12 は、Oracle Cloud 環境、オンプレミス環境、またはその両方を含むハイブリッドの環境で、企業のITシステムを運用するにあたり、サービスの継続提供と運用管理コストの肥大化防止に対し、システムの安定稼働と運用コストの削減に役立ちます。

製品/ソリューション例

業務の自動化 (ジョブ管理)



システム監視



さまざまな運用要件に  
対応した監視製品を提供中

✓ JP1/Operations Analyticsの場合  
ハイブリッドクラウド上で、  
アプリケーション~コンテナ~IaaSの  
構成を可視化

障害発生時、障害箇所と影響範囲の  
把握により、対処の効率化を実現!

主要パートナー

株式会社 日立製作所

主に監視対象とするサービス

オラクルクラウドテクノロジー <https://www.oracle.com/jp/cloud/products.html>



- Oracle Database Cloud Service (予定)
- Oracle Database Exadata Cloud Service (予定)
- Oracle Cloud Infrastructure – Compute (Windows/Linux)

お問い合わせ

<http://www.hitachi.co.jp/soft/ask>

会社概要

**HITACHI**  
Inspire the Next

株式会社 日立製作所

“Hitachi Social Innovation is  
POWERING GOOD  
世界を輝かせよう。”

<https://www.hitachi.co.jp/>

本カタログの情報は2020年1月のものです。実際の製品とは内容が異なる場合があります。画面表示をはじめ、製品仕様は、改良のため変更することがあります。OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびそのほかの国における登録商標です。HITACHI、およびJP1は、株式会社日立製作所の商標または登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本書面は、第三者が提供するコンテンツ、製品およびサービスに関する情報及びアクセスを含みます。Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社は、当該第三者のコンテンツ、製品およびサービスについて一切の責任および保証義務を負わず、その利用によって生じた損失、損害および費用について一切責任を負いません。お客様の責任でご利用ください。